

科目名	キャリアデザインA		科目ナンバリング	L-CUCA9-00. H	単位数 時間	1単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期	
			科目コード	B54017		30時間					
区分	キャリアサポート科目	必修	担当者名	馬上 達幸、石戸谷 繁、入江 英弥、坂井 任、 スティーブン・マックウィニー			授業 形態	講義	オムニバス		
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、1年次より将来に対するビジョンを持つための第一歩とする「ヒロガク教養講話」と講義（集中）で進めていく。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>										
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を拓け、必要な知識や技術を獲得する。										
授 業 計 画											
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考		
第1回	オリエンテーション		この授業の受け方について説明する。（4月9日11:15～）								
第2回											
第3回											
第4回											
第5回											
第6回	ヒロガク教養講話、特別講話 （計13回分）		ヒロガク教養講話（木曜日11:15～12:00）、 特別講話を聴講する（詳細日程は別紙参照）								
第7回											
第8回											
第9回											
第10回											
第11回											
第12回											
第13回											
第14回											
第15回											
評価方法及び評価基準	ヒロガク教養講話の聴講・感想（40%）集中授業への参加度、レポートの作成（60%）										
課題等	ヒロガク教養講話での感想、集中授業終了後に提示されるレポート										
事前事後学修	週90分程度の時間を使い、事前事後に講師のプロフィールや所属する事業所のことなどを調べる。										
教材教科書参考書	なし。										
留意点	11回～15回の集中授業は夏季休業中に実施する。単位修得には全日程の出席を必須とする。										

科目名	キャリアデザインB		科目ナンバリング	L-CUCA9-01.U	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期	
			科目コード	B54018		30時間					
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	入江 英弥、坂井 任、 スティーブン・マックウィニー			授業 形態	講義	オムニバス		
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、自分自身の大学生活や職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくために、社会の動きを学びながら自分の将来像を明確にする。そして自らの持つ能力を活かすキャリアデザインの形成を進めていく。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>										
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を拡げ、必要な知識や技術を獲得する。										
授 業 計 画											
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	オリエンテーション			授業の進め方について説明する。							
第2回	これからの大学生活の過ごし方を考える			自分の中期的、及び長期的な目標について考察してみる。							
第3回	自己分析(1)			自分の性格について言葉で表現してみる。							
第4回	本学で取得できる資格について(1)			資格を取ることで広がる選択肢について考える。							
第5回	本学で取得できる資格について(2)			資格を取ることで広がる選択肢について考える。							
第6回	本学で取得できる資格について(3)			資格を取ることで広がる選択肢について考える。							
第7回	本学で取得できる資格について(4)			資格を取ることで広がる選択肢について考える。							
第8回	就職状況について			県内及び全国の就職状況について知る。							
第9回	自己分析(2)			他人から自分はどう見えているかを知る。							
第10回	就職活動の進め方			就職活動をする上で必要なことを知る。							
第11回	海外留学について			海外留学した学生の話聞いて、留学という選択肢について考える。							
第12回	新聞を読む			新聞に親しむとともに、読むためのポイントを知る。							
第13回	企業研究			時代の流れの中で、業界や企業の姿を知る。							
第14回	春期インターンシップについて			インターンシップの準備							
第15回	人事担当者から就職活動へのアドバイス			アドバイスを聞いて、自分を変える機会としてみる。							
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究(レポート)の作成、プレゼンテーションから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたか。										
課題等	授業時に提示する課題を行う。										
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。(週90分以上の事後学修を行うこと)										
教材教科書参考書	なし。										
留意点	インターンシップに参加する前に履修することが望ましい。										

科目名	キャリアデザインC		科目ナンバリング	L-CUCA9-02. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期	
			科目コード	B54019		30時間					
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	入江 英弥、坂井 任、 スティーブン・マックウィニー			授業 形態	講義	オムニバス		
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 大学生のキャリア教育の一環として、働くことの意味や、社会人となるための基礎知識を講義と実習で学ぶ。講義を聴講した上で各自の希望する企業等において就業体験（インターン）をする。実習前に事前レポートを作成する。実習後、実習日誌と事後レポートを作成し、報告会で発表する。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>										
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を拓け、必要な知識や技術を獲得する。										
授 業 計 画											
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考		
第1回	オリエンテーション		インターンシップまでの流れの確認と事前事後の発表								
第2回	就職活動のアウトライン		就職活動をするための準備見取り図								
第3回	自分を見つめなおそう		ライフラインチャートの作成								
第4回	業界・企業研究（1）		会社・企業の業態研究								
第5回	業界・企業研究（2）		自分に合った職業・自分の知らない職業								
第6回	エントリー及びエントリーシート		エントリーシートの書き方と心得								
第7回	ビジネスマナー		社会人として必要なマナー								
第8回	企業面接		面接の種類と常識								
第9回	インターンシップガイダンス		インターンシップの流れと受け入れ企業のマッチング								
第10回	インターンシップ事前発表		インターンシップ実習先の企業の研究と志望動機、実習で身につけたいこと								
第11回	インターンシップ実習		各企業・事業所などにおいて実習								
第12回	インターンシップ実習		各企業・事業所などにおいて実習								
第13回	インターンシップ実習		各企業・事業所などにおいて実習								
第14回	インターンシップ実習		各企業・事業所などにおいて実習								
第15回	インターンシップ事後報告会		インターンシップ経験に関して、意義や評価について発表する								
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究（レポート）の作成、プレゼンテーションから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたかがポイントである。										
課題等	インターンシップの実施と事前・事後レポートの提出										
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。（週90分以上の事後学修を行うこと）										
教材教科書参考書	なし。										
留意点	インターンシップ実施前に履修することが望ましい。インターンシップは夏休みに行う。最低限4日以上参加。4日以下は単位取得不可。										

科目名	キャリアデザインD		科目ナンバリング	L-CUCA9-03. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期	
			科目コード	B54020		30時間					
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	入江 英弥、坂井 任、 スティーブン・マックウィニー			授業 形態	講義	オムニバス		
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 大学生のキャリア教育の一環として、働くことの意味や、社会人となるための基礎知識を講義と実習で学ぶ。講義を聴講した上で各自の希望する企業等において就業体験（インターン）をする。実習前に事前レポートを作成する。実習後、実習日誌と事後レポートを作成し、報告会で発表する。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>										
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を拓け、必要な知識や技術を獲得する。										
授 業 計 画											
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	オリエンテーション			講義計画に関する説明							
第2回	企業研究（1）			会社・企業の業態研究							
第3回	企業研究（2）			会社・企業の業態研究							
第4回	企業研究（3）			会社・企業の業態研究							
第5回	社会理解（1）			社会状況など把握を通じて現代社会を理解する							
第6回	社会理解（2）			社会状況など把握を通じて現代社会を理解する							
第7回	社会理解（3）			社会状況など把握を通じて現代社会を理解する							
第8回	自己分析（1）			他者視点で自分を分析する							
第9回	自己分析（2）			他者視点で自分を分析する							
第10回	就職活動の時期・手順・就職試験			就職状況・就職情報室の説明							
第11回	社会人としてのマナー			社会人におけるマナーについて							
第12回	リクルートスーツの選び方・着方			就活時の服装等について							
第13回	プレゼンテーション、面接（集団・個人）			プレゼンテーション、面接対策について							
第14回	就職試験体験（公務員試験・SPI）			就活で問われる基礎知識							
第15回	春季インターンシップについて			春季インターンシップについての説明							
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究（レポート）の作成、プレゼンテーションから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたかがポイントである。										
課題等	授業時に提示する課題を行う。										
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。（週90分以上の事後学修を行うこと）										
教材教科書参考書	なし。										
留意点	インターンシップは夏休みに行う。最低限4日以上参加。4日以下は単位取得不可。										

科目名	キャリアデザインE		科目ナンバリング	L-CUCA9-04. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期	
			科目コード	B54021		30時間					
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	入江 英弥、坂井 任、 スティーブン・マックウィニー			授業 形態	講義	オムニバス		
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、自分自身の大学生活や職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくために、社会の動きを学びながら自分の将来像を明確にする。そして自らの持つ能力を活かすキャリアデザインの形成を進めていく。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>										
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を拓け、必要な知識や技術を獲得する。										
授 業 計 画											
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考		
第1回	3年生就職オリエンテーション①		就職状況・就職情報室・就職課の説明								
第2回	3年生就職オリエンテーション②		SPI性格検査について								
第3回	インターンシップガイダンス		インターンシップについての説明								
第4回	就職支援サイトガイダンス①		就職支援サイトの説明・登録会								
第5回	就活基礎力講座①		自己分析①								
第6回	就活基礎力講座②		自己分析②								
第7回	就活基礎力講座③		企業研究①								
第8回	就活基礎力講座④		企業研究②								
第9回	就活基礎力講座⑤		インターンシップ研究								
第10回	就職支援サイトガイダンス②		就職支援サイトの説明・登録会								
第11回	就活基礎力講座⑥（マナー講習）		就活におけるマナー等について								
第12回	就活メイクアップ講座①		就活時の服装等について								
第13回	就活メイクアップ講座②		髪型・女子学生メイク（ベースメイク、スキンケア等）・証明写真の撮り方								
第14回	就活準備・夏休みの過ごし方□		就活に向け夏休みを有意義に過ごす								
第15回	まとめ		問題点などを分析する								
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究（レポート）の作成、プレゼンテーションから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたか。										
課題等	授業時に提示する課題を行う。										
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。（週90分以上の事後学修を行うこと）										
教材教科書参考書	なし。										
留意点	6回以上欠席の場合、単位取得不可。										

科目名	キャリアデザインF		科目ナンバリング	L-CUCA9-05. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	B54022		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	入江 英弥、坂井 任、 スティーブン・マックウィニー			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、自分自身の大学生活や職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくために、社会の動きを学びながら自分の将来像を明確にする。そして自らの持つ能力を活かすキャリアデザインの形成を進めていく。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を拓け、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題		授業内容・授業時間外の学修					備考		
第1回	オリエンテーション		講義・就活実践講座などの説明							
第2回	就活スタートアップ講座①□		就職活動の流れと・就職状況について							
第3回	就活スタートアップ講座②□		就職活動の流れと・就職状況について							
第4回	就活実践講座①		エントリーシート・履歴書について							
第5回	就活実践講座②□		筆記試験対策について							
第6回	就活実践講座③		筆記試験実践（模擬試験）について							
第7回	就活実践講座④		面接対策について							
第8回	就活実践講座⑤		面接実践について							
第9回	メンタルヘルス		就活に関する相談、悩み、心のケアについて□							
第10回	就活実践講座⑥（マナー講習）		就職試験・社会人におけるマナーについて							
第11回	模擬面接会①（企業等）		就職スタートに向けての模擬面接について							
第12回	模擬面接会②（公務員等）		就職スタートに向けての模擬面接について							
第13回	就活実践講座⑦		エントリーシート・履歴書の再確認について							
第14回	学内就職セミナー事前説明会		学内就職セミナーの事前説明会							
第15回	就職活動報告会		文4年内定者による就職活動報告							
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究（レポート）の作成、プレゼンテーションから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたか。									
課題等	授業時に提示する課題を行う。									
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。（週90分以上の事後学修を行うこと）									
教材教科書参考書	なし。									
留意点	6回以上欠席の場合、単位取得不可。									

科目名	教職教養C		科目ナンバリング	L-CUCA9-12.U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54003		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	松橋 俊輔			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>本科目では、教職課程で学び始めた学生が、自分自身の「よい授業」に関するイメージを自覚しさらに豊かにするとともに、一人で教壇に立つて授業を実際に行うことを通して、これからの学びに向けた視座を固める。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達目標	<p>1) 各自が現時点で精一杯イメージする「よい授業」を試行し、その可能性や限界を実感することを通して、これ以降の教職課程の学びに対する関心や意欲を高める。</p> <p>2) 生徒の視点に立つて授業をデザインしたり実践したりすることを通して、他者の視点に立つて考え、振る舞うことの重要性と困難さを実感する。</p> <p>3) 授業力の基礎が教科内容そのものの深い理解にあることを実感し、各自の専門科目への意欲を高める。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	導入		・ 本科目のオリエンテーション							
第2回	さまざまな授業実践・授業論(1)		・ 「学びの共同体」の授業論						ディスカッション	
第3回	さまざまな授業実践・授業論(2)		・ 「学びの共同体」の授業論						ディスカッション	
第4回	さまざまな授業実践・授業論(3)		・ 中学英語科の名実践に触れる						ディスカッション	
第5回	授業技術の初歩		・ 話し方、板書、生徒対応など、基本的な点を確認							
第6回	模擬授業(1)		・ 履修者による30分間の模擬授業 ・ 授業に関するディスカッションと教員からのコメント						ディスカッション	
第7回	模擬授業(2)		・ 履修者による30分間の模擬授業 ・ 授業に関するディスカッションと教員からのコメント						ディスカッション	
第8回	模擬授業(3)		・ 履修者による30分間の模擬授業 ・ 授業に関するディスカッションと教員からのコメント						ディスカッション	
第9回	模擬授業(4)		・ 履修者による30分間の模擬授業 ・ 授業に関するディスカッションと教員からのコメント						ディスカッション	
第10回	模擬授業(5)		・ 履修者による30分間の模擬授業 ・ 授業に関するディスカッションと教員からのコメント						ディスカッション	
第11回	模擬授業(6)		・ 履修者による30分間の模擬授業 ・ 授業に関するディスカッションと教員からのコメント						ディスカッション	
第12回	模擬授業(7)		・ 履修者による30分間の模擬授業 ・ 授業に関するディスカッションと教員からのコメント						ディスカッション	
第13回	模擬授業(8)		・ 履修者による30分間の模擬授業 ・ 授業に関するディスカッションと教員からのコメント						ディスカッション	
第14回	模擬授業(9)		・ 履修者による30分間の模擬授業 ・ 授業に関するディスカッションと教員からのコメント						ディスカッション	
第15回	模擬授業(10)		・ 履修者による30分間の模擬授業 ・ 授業に関するディスカッションと教員からのコメント						ディスカッション	
評価方法及び評価基準	<p>評価項目及び評価の割合は以下の通りとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への参加度：50% ・ 模擬授業への取り組み：50% ・ ミニツツペーパー：適宜加点 									
課題等	・ 授業中に適宜指示する。									
事前事後学修	・ 模擬授業の実施には十分な用意が求められる。									
教材教科書参考書	・ 特に指定しない。参考書等については授業中に適宜指示する。									
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業力を高めることを求める学生は、2年生、3年生、4年生を問わず受講可能である。 ・ 授業に自信のない学生ほど受講を勧めたい。 ・ 授業実践についての希望や不安を仲間と共有し共に考える機会として、主体的に取り組むことが期待される。 									

科目名	教職教養D		科目ナンバリング	L-CUCA9-13.U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54004		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	佐々木 正晴			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>【教授対策講座：教職教養〔教育原理・教育心理学・時事問題編〕】</p> <p>本科目は、教員採用試験受験予定者を対象として、教育原理及び教育心理学の問題演習を行う。また、時事問題対策として、教育関連のニュースについて各自発表を行う。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達 目標	・教員採用試験筆記試験の「教職教養」分野において6割以上の正答率を得ることが出来る									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	導入		・本科目のオリエンテーション							
第2回	教育原理(1)・時事問題(1)		・教育原理分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第3回	教育原理(2)・時事問題(2)		・教育原理分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第4回	教育原理(3)・時事問題(3)		・教育原理分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第5回	教育原理(4)・時事問題(4)		・教育原理分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第6回	教育原理(5)・時事問題(5)		・教育原理分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第7回	教育原理(6)・時事問題(6)		・教育原理分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第8回	試験及び第7回までのまとめ		・第7回までの到達度の確認							
第9回	教育心理学(1)・時事問題(7)		・教育心理学分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第10回	教育心理学(2)・時事問題(8)		・教育心理学分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第11回	教育心理学(3)・時事問題(9)		・教育心理学分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第12回	教育心理学(4)・時事問題(10)		・教育心理学分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第13回	教育心理学(5)・時事問題(11)		・教育心理学分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第14回	教育心理学(6)・時事問題(12)		・教育心理学分野の問題演習 ・教育関連ニュースの発表及びディスカッション					プレゼンテーション ディスカッション		
第15回	試験及び第14回までのまとめ		・第14回までの到達度の確認							
評価 方法 及び 評価 基準	<p>1)原則として、全体時間の出席が求められる。</p> <p>2)評価項目及び評価の割合は以下の通りとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験：40% ・教育関連ニュースの発表：40% ・授業内の発言等：20% 									
課題 等	企画書と報告書は演習時に全員で討議する。小レポートは演習時に解説する。									
事前事 後学修	毎回の授業最後にレポートを課し、次回授業冒頭で解説する。レポート作成の所要時間の目安は3時間である。									
教材 教科書 参考書	なし。プリント配布。									
留意 点	担当者が適宜配布する。 連絡先：sasaki@hiroga-u.ac.jp オフィスアワー：(木)14：20～15：50									

科目名	常識日本語 A		科目ナンバリング	L-CUCA9-20. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54007		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	鎌田 学			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 社会人として求められる語彙力、読解力を高めるための授業。前者は辞書語彙と新聞語彙を含み、後者は抽象度の高い文章の読解と資料の読解とを含む。プレゼン力養成のために、参加者が順番で新聞語彙解説を行う機会を設ける。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達目標	「日本語検定」試験の一級、「漢字検定」準一級のレベルに到達する。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	ガイダンス		授業の進め方							
第2回	辞書語彙		文学作品に親しみながら語彙を増やす							
第3回	辞書語彙②		文学作品に親しみながら語彙を増やす②							
第4回	新聞語彙－憲法と安全保障		語彙解説						プレゼンテーション	
第5回	新聞語彙－人口減少社会		語彙解説						プレゼンテーション	
第6回	新聞語彙－文化の保護と活用		語彙解説						プレゼンテーション	
第7回	新聞語彙－日本経済の行方		語彙解説						プレゼンテーション	
第8回	新聞語彙－貿易		語彙解説						プレゼンテーション	
第9回	新聞語彙－世界秩序		語彙解説						プレゼンテーション	
第10回	新聞語彙－情報社会		語彙解説						プレゼンテーション	
第11回	新聞語彙－先進医療と倫理		語彙解説						プレゼンテーション	
第12回	新聞語彙－変わる食生活		語彙解説						プレゼンテーション	
第13回	文章読解		入社試験レベルの文章を読む							
第14回	資料読解		図表を使った文章を読む							
第15回	まとめ		全体のまとめ							
評価方法及び評価基準	授業への参加度（50%）、小テストおよび期末テスト（50%）。テストの評価は正解獲得点数によって行う。									
課題等	授業時間内に「作業」を行う。小テストは実施翌週に返却。									
事前事後学修	小テスト対策に3時間程度必要。									
教材教科書参考書	「漢字検定準一級 頻出度順問題集」（高橋書店、本体1200円、ISBN978-4-471-49070-6）									
留意点	授業内容は前年度「常識日本語B」と同じ。									

科目名	小論文演習		科目ナンバリング	L-CUCA9-22. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54009		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	佐々木 正晴			授業 形態	演習	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>一般企業入社試験、公務員試験、教員採用試験での小論文過去問を解く。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達 目標	<p>A. 短時間で、書く内容を決める力をつけること</p> <p>B. 与えられたテーマに応じて書く方法が変わる、複数の方法を知ること</p> <p>C. 他の人が聞いてもわかる文章を書く力をつけること</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	過去の問題を参照：企業		一般企業入社試験の小論文過去問を見る							
第2回	過去の問題を参照：公務員		公務員試験の小論文過去問を見る							
第3回	過去の問題を参照：教員採用		教員採用試験の小論文過去問を見る							
第4回	書く前に考える：評論文		短い評論を読み、書く内容を考える					ディスカッション		
第5回	書く前に考える：随筆文		短い随筆を読み、書く内容を考える					ディスカッション		
第6回	書く前に考える：時事問題文1		時事問題について、書く内容を考える					ディスカッション		
第7回	書く前に考える：時事問題文2		時事問題について、書く内容を考える					ディスカッション		
第8回	課題/テーマと書く方法		テーマに応じて複数の書く方法を列挙する							
第9回	課題/テーマと書く方法：小論文の場合		小論文課題と複数の書く方法を対応させる							
第10回	課題/テーマと書く方法：時事問題の場合		時事問題と複数の書く方法を対応させる							
第11回	書く：時事問題		時事問題テーマを決め、書く(レポート)					プレゼンテーション		
第12回	書く：企業試験		一般企業入社試験テーマを決め、書く					プレゼンテーション		
第13回	書く：公務員試験		公務員試験テーマを決め、書く					プレゼンテーション		
第14回	書く：教員採用		教員採用試験テーマ決め、書く					プレゼンテーション		
第15回	総括		書く方法の確認、総括							
評価 方法 及び 評価 基準	<p>平常点評価50%、レポート50%。</p> <p>毎回の授業で小レポートを課す。小レポートを提出すること、及びその内容や授業中の授業態度等を総合して平常点とする。</p> <p>レポートでは、自学5回。テーマに応じて論理的に評価されているかを評価する。</p>									
課題 等	<p>企画書と報告書は演習時に全員で討議する。小レポートは演習時に解説する。</p>									
事前事 後学修	<p>毎回の授業最後にレポートを課し、次回授業冒頭で解説する。レポート作成の所要時間の目安は3時間である。</p>									
教材 教科書 参考書	<p>なし。プリント配布。</p>									
留意 点	<p>心を込めてレポートを書くこと。</p> <p>連絡先：sasaki@hirogaku-u.ac.jp オフィスアワー：(木)14：20～15：50</p>									

科目名	実践英語 C (TOEIC)		科目ナンバリング	L-CUCA9-32. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54012		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	野呂 佐枝子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>TOEIC®テストが新形式になってから5年が経ち、より複雑で難しくなったと言われる現在の形式も定着したように思われるが、英語能力を示すものとしての重要性はますます増している。TOEICを受ける際に重要なことは、限られた時間の中でできるだけ正解を得ることであるが、そのためには試験の形式をよく知り、基礎体力ならぬ基礎英語力をつけなければならない。この授業では、それに必要なTOEICの練習問題に取り組み、基礎英語力をあげるための文法とボキャブラリーを強化していく。文法とボキャブラリーに関しては、テキスト以外の資料も使用予定。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達目標	<p>まずはTOEICテストの形式に早くなれる必要があるので、試験の概観を見て、それぞれのパートの特徴をつかむ。できるだけ多くのTOEIC形式の設問を解いていき、自分で足りないものや弱いところを認識できるようにする。その上で文法やボキャブラリーを積み重ねていくことにより、自分なりのTOEICのスコアアップの方法を見つけ、そのための努力を継続してできるようにする。よほどの理由がない限り、少なくとも一度は正式なTOEICの試験を受験し、自分の弱点をつかんで、それを向上させることを目指します。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授業内容・授業時間外の学修					備考		
第1回	オリエンテーション		TOEIC®テストとはどのようなものか、その形式と内容について							
第2回	Unit 1		動詞と時制 (1)					ペアワークの部分あり		
第3回	Unit 1 および Unit 2		動詞と時制 (1) 動詞と時制 (2)					ペアワークの部分あり		
第4回	Unit 2		動詞と時制 (2)					ペアワークの部分あり		
第5回	ボキャブラリー&文法 1		ボキャブラリービルディングおよび文法 1							
第6回	Unit 3		動詞と時制 (3)、品詞					ペアワークの部分あり		
第7回	Unit 3 および Unit 4		動詞と時制 (3)、品詞 仮定法					ペアワークの部分あり		
第8回	Unit 4		仮定法					ペアワークの部分あり		
第9回	ボキャブラリー&文法 2		ボキャブラリービルディングおよび文法 2							
第10回	ここまでのまとめと小テスト		テキスト + 小テスト							
第11回	Unit 5		準動詞 (1)					ペアワークの部分あり		
第12回	Unit 5 および Unit 6		準動詞 (1) 準動詞 (2)					ペアワークの部分あり		
第13回	Unit 6		準動詞 (2)					ペアワークの部分あり		
第14回	ボキャブラリー&文法 3		ボキャブラリービルディングおよび文法 3							
第15回	期末試験と前期のまとめ		期末試験と前期のまとめ							
評価方法及び評価基準	<p>毎回の授業の平常点および各種テスト 50%</p> <p>期末試験 50%</p> <p>テキストの練習問題は毎回全員にあたります。</p> <p>授業への参加度、貢献度、協力度（以上は平常点に含まれる）と各種小テスト、期末試験のすべてを合計して総合評価とする。</p>									
課題等	次のところを予習してくることが毎回の課題です。									
事前事後学修	授業の予習は必須です。設問は毎回全員にあたります。わからないところは復習して理解し、期末試験までにわからない点を解決しておくこと。									
教材教科書参考書	『新訂版TOEIC® L&R テストへようこそ』、北原良夫、朝日出版社、ISBN 978-4-255-15649-1 C1082									
留意点	<p>実際のTOEIC®テストは、自分の弱点発見やスコアアップのためにも少なくとも一度は受験することを前提としていますので、履修する方は日程を調整してぜひ受けてください。</p> <p>TOEICテストはリスニングとリーディングの試験なので、ライティングとスピーキングについては授業では触れません。しかし、設問や読みは出席者にやってもらうので、あらかじめ発音を調べて読めるようにしておくこと。</p> <p>高校時代のものでよいので、文法の参考書を必ず用意すること。</p> <p>授業の準備と復習は必ずやっておいてください。とにかく単語を増やしましょう！</p>									

科目名	実践英語 D (TOEIC)		科目ナンバリング	L-CUCA9-33. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54013		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	野呂 佐枝子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>TOEIC®テストが新形式になってから5年が経ち、より複雑で難しくなったと言われる現在の形式も定着したように思われるが、英語能力を示すものとしての重要性はますます増している。TOEICを受ける際に重要なことは、限られた時間の中でできるだけ正解を得ることであるが、そのためには試験の形式をよく知り、基礎体力ならぬ基礎英語力をつけなければならない。この授業では、それに必要なTOEICの練習問題に取り組み、基礎英語力をあげるための文法とボキャブラリーを強化していく。文法とボキャブラリーに関しては、テキスト以外の資料も使用予定。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達目標	<p>まずはTOEICテストの形式に早くなれる必要があるので、試験の概観を見て、それぞれのパートの特徴をつかむ。できるだけ多くのTOEIC形式の設問を解いていき、自分で足りないものや弱いところを認識できるようにする。その上で文法やボキャブラリーを積み重ねていくことにより、自分なりのTOEICのスコアアップの方法を見つけ、そのための努力を継続してできるようにする。よほどの理由がない限り、少なくとも一度は正式なTOEICの試験を受験し、自分の弱点をつかんで、それを向上させることを目指します。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授業内容・授業時間外の学修					備考		
第1回	オリエンテーション		TOEIC®テストとはどのようなものか、その形式と内容について							
第2回	Unit 7		準動詞 (3)					ペアワークの部分あり		
第3回	Unit 7 および Unit 8		準動詞 (3) 準動詞 (4)					ペアワークの部分あり		
第4回	Unit 8		準動詞 (4)					ペアワークの部分あり		
第5回	ボキャブラリー&グラマー 1		ボキャブラリービルディングおよびグラマー 1							
第6回	Unit 9		形容詞・副詞と比較					ペアワークの部分あり		
第7回	Unit 9 および Unit 10		形容詞・副詞と比較 不定代名詞-another と other					ペアワークの部分あり		
第8回	Unit 10		不定代名詞-another と other					ペアワークの部分あり		
第9回	ボキャブラリー&グラマー 2		ボキャブラリービルディングおよびグラマー 2							
第10回	ここまでのまとめと小テスト		テキスト + 小テスト							
第11回	Unit 11		関係詞 (1)					ペアワークの部分あり		
第12回	Unit 11 および Unit 12		関係詞 (1) 関係詞 (2)					ペアワークの部分あり		
第13回	Unit 12		関係詞 (2)					ペアワークの部分あり		
第14回	ボキャブラリー&グラマー 3		ボキャブラリービルディングおよびグラマー 3							
第15回	期末試験と前期のまとめ		期末試験と前期のまとめ							
評価方法及び評価基準	<p>毎回の授業の平常点および各種テスト 50%</p> <p>期末試験 50%</p> <p>テキストの練習問題は毎回全員にあたります。</p> <p>授業への参加度、貢献度、協力度（以上は平常点に含まれる）と各種小テスト、期末試験のすべてを合計して総合評価とする。</p>									
課題等	次のところを予習してくることが毎回の課題です。									
事前事後学修	授業の予習は必須です。設問は毎回全員にあたります。わからないところは復習して理解し、期末試験までにわからない点を解決しておくこと。									
教材教科書参考書	『新訂版TOEIC® L&R テストへようこそ』、北原良夫、朝日出版社、ISBN 978-4-255-15649-1 C1082									
留意点	<p>実際のTOEIC®テストは、自分の弱点発見やスコアアップのためにも少なくとも一度は受験することを前提としていますので、履修する方は日程を調整してぜひ受けてください。</p> <p>TOEICテストはリスニングとリーディングの試験なので、ライティングとスピーキングについては授業では触れません。しかし、設問や読みは出席者にやってもらうので、あらかじめ発音を調べて読めるようにしておくこと。</p> <p>高校時代のものでもよいので、文法の参考書を必ず用意すること。</p> <p>授業の準備と復習は必ずやっておいてください。とにかく単語を増やしましょう！</p>									

科目名	基礎数学B (SPI)		科目ナンバリング	L-CUCA9-41. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54015		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	坂井 任			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 社会人基礎力として要求される算数力を確実に身につける。就職試験にも使われるSPI試験の非言語問題を通して基礎的な数的処理能力を養う。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達目標	SPI試験の非言語問題の考え方を理解する。基礎的な計算が速く確実にできるようにする。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	ガイダンス+お試し実力テスト		ガイダンス お試し実力テスト							
第2回	数表・図表／推理(論理)		数表・図表 推理(論理)							
第3回	推理(位置)／推理(順序)		推理(位置) 推理(順序)						復習テスト	
第4回	推理(勝ち負け)／推理(命題)		推理(勝ち負け) 推理(命題)						復習テスト	
第5回	推理		「推理」分野の問題						復習テスト	
第6回	順列・組合せ／確率		順列・組合せ 確率						復習テスト	
第7回	速さ		速さ						復習テスト	
第8回	集合(ベン図)／料金の割引		集合(ベン図) 料金の割引						復習テスト	
第9回	割合／売買損益		割合 売買損益						復習テスト	
第10回	グラフ(領域と不等式)／グラフ(条件と領域)		グラフ(領域と不等式) グラフ(条件と領域)						復習テスト	
第11回	経路と比率／分割払い		経路と比率 分割払い						復習テスト	
第12回	記号／ブラックボックス		記号 ブラックボックス						復習テスト	
第13回	フローチャート／鶴亀算		フローチャート 鶴亀算						復習テスト	
第14回	仕事算／年齢算		仕事算 年齢算						復習テスト	
第15回	試験解答		試験解答						この授業は最終週に行う	
評価方法及び評価基準	授業への取り組み(45%)・前回授業内容の復習テスト(25%)・試験(30%) 試験を受けなかった場合、未履修扱いとなる。									
課題等	復習テストは採点して返却し、解答を配布する。 試験の答えは採点して返却する。									
事前事後学修	各回毎に授業時間内にできなかった教科書の問題を自習しておくこと。 復習テストで、できなかった問題は復習すること。									
教材教科書参考書	『SPI解法の極意2022年度版』マイナビ(本体1,300円+税) ISBN 9784839972516 ※ 発行年度を間違えないこと									
留意点	復習をきちんとし理解できないところを残さないようにすること。ほぼ毎回「前回授業内容の復習テスト」を行う。 15週目(今年度は7月30日)に試験を行い、最終回に上記第15回の内容を行う予定である。									

科目名	基礎数学C(数学検定)		科目ナンバリング	L-CUCA9-42. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54016		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	坂井 任			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕</p> <p>数学検定3級の問題を通じて、社会人基礎力として要求されるレベルの数学に再チャレンジする。</p> <p>〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕</p> <p>ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達目標	数学検定試験3級(中3レベル)の数学の力が身に付く。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	ガイダンス+お試し実力テスト		ガイダンス お試し実力テスト							
第2回	数の計算		累乗を含む四則演算・分数と小数・平方根							
第3回	式の計算		1次式の計算・単項式の乗法と除法						復習テスト	
第4回	式の展開・因数分解		多項式と多項式の乗法 式の因数分解						復習テスト	
第5回	1次方程式・2次方程式		1次方程式の解き方 因数分解による2次方程式の解き方						復習テスト	
第6回	2次方程式・連立方程式		2次方程式の解の公式 連立方程式						復習テスト	
第7回	1次不等式・式の変形・方程式の応用問題		1次不等式・式の変形 方程式の応用問題						復習テスト	
第8回	式の値・関数		式の値・比例・反比例・1次関数						復習テスト	
第9回	関数・関数の応用問題		2次関数・関数の応用問題						復習テスト	
第10回	図形の角		多角形の内角と外角・平行線と角・三角形の内角と外角						復習テスト	
第11回	平行線の長さ・円周角		三角形の比・平行線と比・円周角の定理						復習テスト	
第12回	円周角・関数の応用問題		円周角と弧・関数の応用問題						復習テスト	
第13回	図形の応用問題		図形の応用問題						復習テスト	
第14回	論理的応用問題		論理的応用問題						復習テスト	
第15回	試験解答		試験解答 (この授業は最終週に行う)							
評価方法及び評価基準	授業への取り組み(45%)・前回授業内容の復習テスト(25%)・試験(30%) 試験は、数検3級を解く実力を試す問題を出す。試験を受けなかった場合、未履修扱いとなる。									
課題等	復習テストは採点して返却し、解答を配布する。 試験の答えは採点して返却する。									
事前事後学修	復習テストで、できなかった問題は復習すること。 事前事後学習は3時間程度が望ましい。									
教材教科書参考書	『ユーキャンの数学検定ステップアップ問題集 3級 (第3版)』自由国民社(本体1,000円+税) ISBN 9784426609733 ※ 級を間違えないこと ※(第2版)・(第2版新装版)でも可、授業に使用する部分は同じ内容です。									
留意点	復習をきちんとして理解できないところを残さないようにすること。ほぼ毎回「前回授業内容の復習テスト」を行う。 15週目(今年度は1月21日)に試験を行い、最終回に上記第15回の内容を行う予定である。									